

伊予市 石窯香房みどり

～耕作放棄地を活用したグリーン・ツーリズムの推進～

●活動内容

①取り組み概要

- 伊予市双海町は、“沈む夕日が立ち止まる町”として、全国的に有名な町で、海岸線は、シーサイド公園等、著名な交流の拠点があるが、山間部に入った翠地区には何も無く、以前から活性化を望む声が強かった。
- 高齢化と共に、耕作放棄地が増える中で、地区内の農業者が試行錯誤の末グリーン・ツーリズム活動として、耕作放棄地 約50aを雑地に地目転用し、ピザ焼き体験施設と駐車場を整備。
- 構成人数は、農業者等13人。
(男性 6人、女性 7人)
- 年間受入人数は、約5,000人
(ピザ1枚¥1,600円)
- 主な顧客は、PTA活動や小中高等学校の遠足、デイサービスなどリピーターが多い

②成功のポイント

- 地の利がある(松山市に近い)。
- 人の利(町おこしに感心の高い地区、ロマンを持つリーダーが多い)がある。
- 伊予市双海町翠地区は、ほたるの里、県最古の木造校舎の翠小学校、観光いちご園等の来訪者が多い。
- ピザを顧客に手づくりさせることで、創造性を描き立てる面白さがある。
- 団体を受け入れることが出来るため、PTA活動や小中高の遠足、デイサービス等、リピーターが定着している。

●生産者等情報

石窯香房みどり 代表 西岡 栄一

●ホームページリンク

ホームページなし



ピザ窯香房みどりスタッフと香房



味噌ソースのシーフードピザ